



2019年5月14日

各位

会社名 株式会社エヌジェイホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 筒井 俊光
 (JASDAQ・コード9421)
 問合せ先
 役職・氏名 経営企画室長 野澤 創一
 電話 03-5418-8128

通期業績予想と実績値との差異並びに
 減損損失(連結)及び貸倒引当金繰入額(個別)の計上に関するお知らせ

当社は、2018年11月13日付「業績予想の修正並びに特別損失の計上及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました2019年3月期の通期連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせするとともに、2019年3月期決算において、減損損失(連結)、貸倒引当金繰入額(個別)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績との差異について

(1) 通期(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	11,200	350	310	250	円 銭 47.23
実績(B)	11,064	308	299	185	35.03
増減額(B-A)	△135	△41	△10	△64	—
増減率	△1.2%	△12.0%	△3.5%	△25.8%	—
(ご参考) 2018 年3月期実績	11,328	664	667	519	98.45

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行いました。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 差異の生じた理由

売上高、営業利益及び経常利益については、ゲーム事業において、下期にて、納品が来期にずれ

込んだ案件や収益が下振れした新規タイトルがあったことから前回予想を下回ったものです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、第4四半期連結会計期間において、主に下記「2. 減損損失（連結）の計上」によるソフトウェア等の減損損失 117 百万円を特別損失に計上したことによるものです。

2. 減損損失（連結）の計上

連結子会社において、一部開発費を負担するなどした開発タイトルについてソフトウェア資産を計上しておりますが、当初予定していた収益を見込めなくなったタイトルについて、資産性を判断した結果、ソフトウェアの減損損失 70 百万円を特別損失に計上いたしました。

3. 貸倒引当金繰入額（個別）の計上

当社の個別決算において、連結子会社向けの一部債権について、貸倒引当金の計上が必要と判断したことから、貸倒引当金繰入額 140 百万円を営業外費用に計上いたしました。なお、この貸倒引当金繰入額については、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以上